

選手直前インタビュー 俺の出番だ!!



大石 剣士

(静岡/109期)

4月にG3（トラック競技支援競輪）を走ったときよりも力が付いてるし、状態もいいと思います。あのときは成績もダメだったので、今回はそのリベンジができるかな。地元地区のS級選手は全員呼ばれたんで、僕もその一員としてしっかり頑張りたい。

格清 洋介

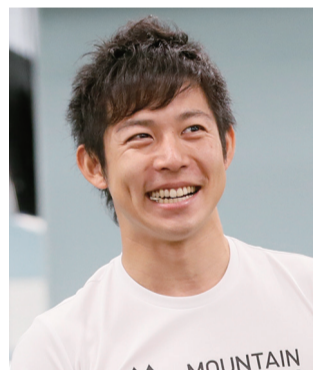
(静岡/111期)

今は先行して脚を付けている時期ですけど、脚力不足を痛感しています。今のままで走ってもいい成績は残せないと思っているし、時間はないけど記念に向けて練習しています。初の地元記念で何もせずに終わりにたくないし、何とか見せ場を作りたい。



阿部 力也 (宮城/100期)

昨年は5勝にとどまったが、今年は11月末までに19勝を挙げていて、差し脚に迫力を増した印象だ。9月向日町記念では3①①①着と記念初Vを飾ると、11月松戸は連日素晴らしい伸びを披露して3連勝。



堀内 俊介 (神奈川/107期)

今期は2班ながらG1大会で好走していて動きは悪くない。オールスターで2着2回、寛仁親王牌では①⑥⑧①着と2勝、競輪祭でも2着2回と連がらみが多い。上位戦でも仕掛けがツボにはまると一発怖い。



河村 雅章 (東京/92期)

ここのところ十八番のまくりがビシビシ決まっている。10月京王閣記念で1②②④着と好走すると、11月四日市記念は二次予選Bで勝ち星ゲット。更に同月平塚では連勝で優参している。混戦模様のレースは目が離せない。

S級ブロックセブン

12/24 (最終日) 6R

ブロックセブンとは

「推理しやすい、わかりやすい、的中しやすい」をコンセプトにした、競輪独特の「地区」の色合いをより濃く打ち出したS級7車立ての新たな単発レース。

瓜生崇智の前々自在な走りに乗って高原仁志が浮上を狙う。失格点で来年1年間はA級暮らしの瓜生は、この今期最終戦で爪痕を残したいはず。11月の予選で、新鋭・高橋晋をまわった森川大輔も軽視禁物だ。

レベルが違う
山中秀将



山中 秀将